

### (3) 許容荷重(長期静荷重)PLの計算

許容荷重を計算する場合は、次式を参考にしてください。

① 直線的な立上りから急に大きなスリップが始まる場合(図1-③)

i  $\frac{\text{最大荷重}}{\text{比例最大荷重}} > 1.2$ の場合

$$PL_1 = \frac{\text{比例最大荷重} \times k}{2}$$

ii  $\frac{\text{最大荷重}}{\text{比例最大荷重}} < 1.1$ の場合

$$PL_2 = \frac{\text{比例最大荷重} \times k}{3}$$

なお、上記の計算の値が i と ii の中間にある場合は、現場の状況に応じて決めてください。

② 直線的な立上りからゆるやかな山形の2次曲線に近い場合、線に近い場合(図1-④)

$$PL_3 = \frac{\text{最大荷重} \times k}{3}$$

ただし、k…補正係数 0.6~0.8

補正係数 k の値は現場の状況に応じて決めてください。

※ ・最大荷重、比例最大荷重の値はカタログ上の値で、実験による算術平均値です。

・短期荷重=長期荷重×1.5

・ヘリあきが埋込み深さの2倍以下の場合は、アンカーの強度が低下しますので注意してください。

・アンカーピッチが埋込み深さの3.5倍以下の場合は、アンカーの強度が低下しますので注意してください。

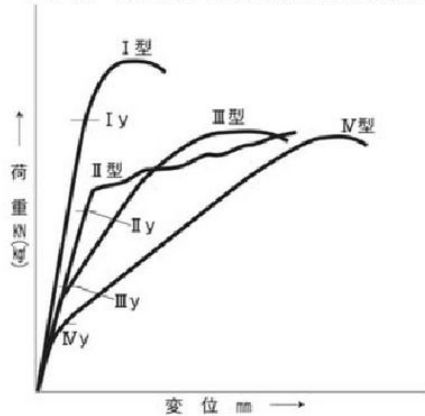


図2. 荷重～変位曲線

図2の曲線で該当する当社の主なアンカーは…

I型 サンピックアンカー ……NSLタイプ、NSBタイプ

II型 オールアンカー ……Cタイプ、Tタイプ、Yタイプ

シーティーアンカー ……CTタイプ、GTタイプ

III型 ボルトアンカー ……BAタイプ

グリップアンカー ……GAタイプ

IV型 当社には該当するアンカーはありません。

拡張面積、寸法の小さいアンカーに多く見られます。